



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE：第3回大使会議の開催

(9月8日付現地各紙)

9月8日付現地各紙は、7日から3日間の予定で開催されている第3回大使会議について報じている。以下概要。

1. 9月7日、3日間の予定でアブダラー外相主催第3回大使会議がアブダビにて開会された。
2. 同会合に際し、アブダラー外相は各大使らに対し、次のように述べた。
 - (1) UAEは、印、中、露、ブラジル、南アといった最近顕著な発展を遂げている諸国との関係強化を目指している。
 - (2) UAEは多数の地域・国際機関において影響力を有している。わが国の政策は、人・地域・気まぐれといった基準で変わるものではない。
 - (3) UAE外交は、開発、経済、通商、投資面でUAEが達成した成果を活かしつつ、強化していかなければならない。また各国との二国間関係において、わが国の地位を高めるべきである。
 - (4) 各大使には、UAEの民間企業に対し、各々の任国事情を説明し、各国経済においてUAE企業が投資できるよう、ビジネスマンや民間企業と連携を密にするよう求める。
3. 初日(7日)には、新エネルギー、UAEの原子力発電計画、SWF、UAEの人権状況に関する包括的な報告書、UAEの労働力等につき議論された。各大使は、ハマド・カアビーIAEA常駐代表(原子力発電計画)、スルターン・ジャービル・マスダールCEO(新エネルギー)、ADIA代表者(SWF)、連邦国民評議会関係者(人権、労働省関係者(労働力)、内務省関係者(新査証制度)よりブリーフを受けた。